

## 第167回「防災塾・だるま」

防災まちづくり談義の会 令和元年5月24日（土）


神奈川新聞 2019年6月1日（土）  
第167回「防災塾・だるま」まちづくり談義の会 退官記念講演

「阪神大震災の後、マグニチュード（M）7の地震はどこでも起きるといわれ、東日本大震災後は想定外をなくすため、M9まで考えることになった」  
防災団体の会合で講演し、自らの歩んできた道を重ねながら「平成」の地震対策を振り返った。  
県総合防災センターの所長を務め終えるまで、県の防災行政に関わり続けた。県建設業協会（横浜市中区）に転じたが、経験をこれからも伝えていくつもりだ。  
「令和の時代も災害からは逃れられない。できることを一つ一つ積み重ねていくしかない」

かながわ人 @ 中

防災行政の経験伝え

県建設業協会事業部長  
杉原 英和さん（61）



杉原 英和 氏 退官記念講演  
（元神奈川県総合防災センター所長・消防学校長）  
第167回「防災塾・だるま」防災まちづくり談義の会 令和元年5月24日（金）  
会場：桜木町ぴおシティ6階「さくらリビング」第一研修室

